ハンドマイク街頭演説原稿例　志位来たる・予算案衆院通過（修正）

二〇二五年三月八日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、４月１２日土曜日午後２時から、ＪＲ大宮駅西口で、日本共産党の志位和夫議長を迎えての街頭演説を行います。この機会に、ぜひ日本共産党のお話をお聞きください。よろしくお願いいたします。

　さてみなさん、２０２５年度の国の予算案が先日、衆議院を通過しました。自民党と公明党の与党に加えて、日本維新の会が賛成に回り、与党の修正案が賛成多数となりました。予算案修正についての与党と維新の会の合意は、高校授業料の無償化と引き換えに、政府予算案の問題点を温存するものだと言わざるを得ません。

　日本共産党は国民生活を支える予算にするために予算案を抜本的に組み替える動議を提出しましたが、他の党の反対で否決されました。また、立憲民主党が提出した予算修正案については、意見の異なる点はあるものの、修正内容は日本共産党も求めてきたものであることから賛成しましたが、賛成少数で否決されました。

　予算案の重大な問題は、国民の暮らしを支えるための予算は増額したものの物価上昇に追いつかず、実質的にマイナスなのに対し、防衛費は九％以上増えて八兆七千億円という、大幅な増加となっていることです。その内容も、他国に攻め込むタイプの軍備の増強ばかりです。国民生活を見捨てて、軍備ばかり増やすことが、国を守ることなのでしょうか。

　もう一つの重大な問題は、大もうけをあげている巨大企業や超大金持ちばかり優遇していることです。日本共産党は、ここをしっかり見直して巨大企業や超大金持ちにもうけにふさわしい税金の負担をしてもらい、それで得られる財源を国民の暮らしを支える予算や、消費税を５％に引き下げる財源にあてることを提案しています。

　ところでみなさん、医療費の本人負担に上限をつける高額療養費制度について、石破自公政権は八月から負担上限額を引き上げ、患者さんの負担を増やそうとしていました。患者さんや家族はじめ国民の世論と、日本共産党はじめ野党の国会論戦で追い詰められた石破政権は、ついに八月からの引き上げを断念しました。国民の力で政治を動かしました。日本共産党は、再検討ではなく全面的な引き上げ撤回を求め、引き続き頑張ります。

　日本共産党は参議院でも引き続き、予算案の問題点を明らかにし、政治の根本を変える論戦に取り組みます。日本共産党へのご支持、ご協力をよろしくお願いします。

　みなさん、今年の夏には参議院選挙が行われます。衆議院に続いて、今度は参議院でも与党を少数に追い込み、国民の切実な願いを実現するチャンスです。そのためにも、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む五議席の獲得、定数四の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党と伊藤岳に、みなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）